

明治大学研究成果活用促進センター 2020年度活動報告

事業概要

「明治大学研究成果活用促進センター(旧・明治大学インキュベーションセンター)」は研究活用知財本部の下に設置され、本学の研究成果に基づく産官学連携の支援、及び研究成果を活用した起業支援を行っています。研究成果の活用を促進するためのスペースとして、駿河台キャンパスのグローバルフロント内に7室の施設を設置しています。

これまでにおよそ20のプロジェクトについて事業化が取り組まれ、10社あまりの会社設立の実績があり、現在も多様な入居者が積極的に活動しています。

活動報告公開にあたって

昨年に引き続き、本センターからの情報発信の一環として、利用者の活動について、みなさまに報告させていただきます。今後の本センター運営に関するご意見等をいただければ幸いです。引き続きご支援をよろしくお願いたします。なお、本活動報告については過去の分も含め、ウェブページで公開しております。

https://www.meiji.ac.jp/tlo/about_incubation_center.htmlまたは「研究成果活用促進センター」で検索してください。

新規利用者募集について

本センターでは、随時、新たな利用者を募集しております。本報告をご覧いただき、ご興味をお持ちいただきましたら、上記ウェブサイトをご確認のうえ、ぜひご応募ください。お待ちしております。

研究成果活用促進センター長 熊澤喜章(商学部 専任教授)

Contents

p.1	事業概要
	活動報告公開にあたって
	新規利用者募集について
p.2-4	利用者紹介
	・株式会社COCO・WA・DOCO
	・株式会社EVISION
	・株式会社グローバルガバナンス・センター
	・株式会社想隆社
	・一般社団法人日本オープンオンライン 教育推進協議会(JMOOC)
p.4	アクセスマップと問い合わせ先



(写真)明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント本建物の7階が研究成果活用促進センター施設です。

ローカルエリアシステム研究所・株式会社COCO・WA・DOCO

利用代表者	ローカルエリアシステム研究所・株式会社COCO・WA・DOCO 代表取締役 半田正浩
利用責任者	明治大学 政治経済学部 専任教授 藤永修一
事業内容	IT関連事業

事業内容と活用促進している研究成果

ローカルエリアシステム研究所では、明治大学の学内システムであるOh-o!Meijiシステムのコンセプトである多対多の情報発信を自治体や商店街において実証し、さらにテキストベースのコミュニケーションだけでなく、映像や音声における情報配信の手法について研究活動を実施しました。それらの研究成果を株式会社COCO・WA・DOCOを通じて運用・販売し、安価にユーザにご利用いただけるよう活動を行っています。

2020年度の活動・成果

AI(人工知能)分野に注力し、ビッグデータを用いた経済分析システムの研究開発を行っています。AIが人とコミュニケーションをとる方法は様々ですが、ローカルエリアシステム研究所では、その中でも音声分野において、自治体・企業様から多くのお問合せをいただいております。

AIによる通信事業で大躍進！

株式会社EVISION

利用代表者	株式会社EVISION 代表取締役 奥秀太郎
利用責任者	明治大学 総合数理学部 専任教授 福地健太郎
事業内容	VR技術と立体映像技術、その舞台演出への応用

事業内容と活用促進している研究成果

遠赤外線カメラ画像のリアルタイム画像処理技術を舞台演出に応用し、能楽師の身体運動に応じてCG映像をリアルタイムに生成し舞台上に投影する応用研究を行っている。2020年度はこれを拡張し、反射フィルムを利用した立体映像の重畳により新たな舞台演出を可能とし、東京大学稲見昌彦教授と協力し、これを「VR能攻殻機動隊」として結実させた。

2020年度の活動・成果

VR能攻殻機動隊はコロナ禍においての舞台公演の新しい取り組みとして各界に注目していただき、好評を博しました。多くの反響を得て、さらにその結果、本年度の経産省のINNOVATIVETECHNOLOGYAWARD、羽倉賞ノミネート賞ダブル受賞の快挙となりました。また12月にはこのVR能攻殻機動隊と3D能3本(そのうちの石橋は能の大曲で新作)を博多座での上演を成功させることができました。

VR技術で攻殻機動隊の世界を現実にする！

株式会社グローバルガバナンス・センター

利用代表者 株式会社グローバルガバナンス・センター 代表取締役社長 市川宏雄
利用責任者 明治大学 ガバナンス研究科 専任教授 松浦正浩
事業内容 行政および民間のプロジェクトならびにコンサルタント業務及び調査・研究事業

事業内容と活用促進している研究成果

利用代表者の運営する組織の業務受注と実施に協力することで公共政策分野における多くの新たな知見の吸収と人的ネットワークの形成を行うことができた。2つの非営利組織では大都市東京の都心の計画と政策の現実を扱い、また、危機管理に関する研究では自然災害と現在大きなテーマとなっている感染症による社会リスクという2つの分野での組織リーダーのあり方を扱った。民間企業の業務では、現在、オリンピック開催に向けて活発な都市開発、住宅開発の実際の活動を扱った。

2020年度の活動・成果

非営利団体2社と民間企業4社からの業務を受託した。1つの機構では、危機管理のリーダー育成を目的とした講習、試験の実施。もう1つの機構では新型コロナ下での都市についての会員向けの講演会の実施、都知事・区長の参加によるシンポジウムを予定したがコロナ禍で5月に延期された。

また、オフィス分譲業の企業では不動産状況等の講演を全社員と顧客を対象に定期的に行い、住宅分譲業の企業では社内の研究所による研究成果の対外発信と講演、総合建設業の企業で今後の都市開発動向のコンサルタンツ、総合旅行業の企業ではイベント・プロジェクトの構想作成を行った。

社会では事業の具現化ができるプラットフォームが求められる

株式会社想隆社

利用代表者 株式会社想隆社 代表取締役 山本幸太郎
利用責任者 明治大学 法学部 専任教授 阪井和男
事業内容 ワンソースクラウド型デジタル出版・教材制作システムの開発

事業内容と活用促進している研究成果

昨今、教育現場でのICT技術の活用が期待されており、電子書籍やLMS(Learning Management System)が注目されています。本事業は、紙の書籍と電子書籍の両方をワンソースで制作できるマークダウン記法を用いたクラウド型編集システムやLMSの開発、アクセシビリティを考慮したコンテンツの制作システムなど多岐にわたってシステム開発を行っています。

本学阪井和男教授の学習体験の品質に関する研究を利用しています。

2020年度の活動・成果

本年は、様々なプロジェクトにかかわりましたが、アクセシビリティに関する開発が主たる長期開発プロジェクトとなりました。特に読書支援アプリケーションを企業のもとで開発し、2021年3月リリース予定です。

これは日本初の本格的な視覚障害者用読書支援システムで、目の不自由な人が手元にある本を音声化し、読書できるというものです。

画像を文字に置き換えるOCRという技術をベースに、AIなどによって自動認識された文字を修正したり、本のレイアウトを解析するなどの処理をクラウドで行います。これによって、これまで人による音読のため時間がかかったり、単純OCRの文字で不正確だったりした文字情報が早く、正確に伝わります。

誰もが情報にアクセスできる社会を作る！

一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC)

利用代表者 一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会 事務局長 栗山健

利用責任者 明治大学 法学部 専任教授 阪井和男

事業内容 MOOCの開発／利用推進

事業内容と活用促進している研究成果

本事業の目的は大学講義の無償公開活動による継続学習基盤の産学官連携による実現である。本年度は、JMOOC内に阪井和男を主査とする教育環境高度化を検討する「オンライン・リベラルアーツワーキンググループ」を設置した。明治大学共創教育ネットワークと連携することによって、研究会「学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える～リベラルアーツとしての市民性の創造～」を開催し、これまでの研究成果を公開 (<http://service-innovating.jp/activity>)した。

2020年度の活動・成果

JMOOCは、日本で唯一の本格的なMOOC(Massive Open Online Courses)配信を行っており、会員数は98、延べ配信講座数は460。今年度は学習者の増加が著しく、ユニークな登録学習者は98万人、延べ学習者数は130万人に成長した。会員大学の講座、JMOOCが制作した理工系・情報系の技術系基礎科目を継続配信することに加え、今年度はAI・データサイエンス系の講座群も系統立てて制作し、2021年度春に開講予定である。コロナ禍で急速に広まったオンライン授業を支援するオンラインワークショップの開催、各講座の受講状況や学習者からのフィードバックを担当教員と共有し今後の展開に関する情報交換を適宜行っている。

継続学習基盤を産学官連携で実現する。

アクセスマップ



【最寄駅からのアクセス】

■JR中央線・総武線、東京メトロ丸の内線／御茶ノ水駅
下車徒歩3分

■東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅
下車徒歩5分

■都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅
下車徒歩5分

【住所】

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学 駿河台キャンパス グローバルフロント

【問い合わせ先】

研究推進部 研究知財事務室 TEL: 03-3296-4398 FAX: 03-3296-4283

E-mail: tlo@mics.meiji.ac.jp https://www.meiji.ac.jp/tlo/about_incubation_center.html